

会議録

- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | 会議の名称 | 令和6年度第1回熊取町子ども読書活動推進連絡協議会 |
| 2 | 開催日時 | 令和6年5月23日（金） 13時30分～14時30分 |
| 3 | 開催場所 | 熊取町立熊取図書館2階ホール |
| 4 | 議題 | 案件1. 令和5年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び
令和6年度熊取町子ども読書活動推進事業予定について |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |

7 審議会等の概要

- 案件1 令和5年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び令和6年度の熊取町子ども読書活動推進事業予定

【事務局からの説明】

- ①令和6年度の予定として、児童・生徒が学校図書館に求めていることを知り、今後の学校図書館の活性化や第5次計画に向けた児童・生徒へのアンケート調査を実施する。
- ②ブックスタートの実施について、令和5年度からブックスタートのボランティアとして、NPO法人ホームビジット・とんとんのメンバーが参加し、令和6年度の新たな参加者に向けての研修会も4月に行った。
- ③中学生は小学生のような図書の時間がなく、自ら学校図書館に行かなければ本を借りる機会がないため、小学校までに積み重ねてきた読書経験が継続できるよう、生徒が本に親しめる方策を考える必要がある。
- ④来館の少ない10代の層に向けて、令和4年度、令和5年度に引き続き、令和6年度も住民提案協働事業「エンタメ KUMATORI」として、マジックやコミュニケーションスキルを学ぶ講座やイベントを開催し、来館の少ない中高生に向けた取組を行う。それに伴い、SNSを活用した情報発信も行う。また、マジック講座を受講した10代の子どものたちのグループが、図書館を拠点に活動できるよう、支援する。
- ⑤図書館利用に困難がある子どもへの支援として、令和5年度に大阪府教育委員会の委託事業「多言語えほんのひろば」をJICA 関西と大阪観光大学の協力を得て開催した。令和6年度は図書館主催事業として、令和5年度に引き続き、JICA 関西と大阪観光大

学の協力を得て開催する。また、母語を日本語としない子どもや保護者に向けた PR を関係課通じて行う予定。

【委員からの主な意見等】

- ・子育て支援課は、乳幼児健診での集団説明をコロナ前の状況に少しずつ戻す予定。
- ・文庫連はおはなしキャラバンなどの取組みもコロナ前の状況にほぼ戻す予定。コロナの影響で絵本入門講座も知らない方が多い。他のお子さんの様子を見ながら育児の悩みとか子育てについて知りたいことをみんなでコミュニケーションを取りながら、講座を行っていききたい。
- ・4月から保育所では、「コドモ」というアプリを使って、登園降園の時間を管理しているため、それを活用して今後図書館でのことや絵本の紹介などを一斉配信していければと考えている。
- ・学校図書館への蔵書検索システムの導入は、貸出冊数の増加だけではなく、費用に見合った効果が出ている。
- ・全国的に問題となっている不読率の高さについても熊取町として考えていく必要があるため、図書委員会活動などで本に遠ざかっている子どもたちが手に取ってもらう取組を行う。一方、中学校が小学校に小学校が保育所に読み聞かせを行うなど、本を通して人が繋がることができるというのも各校に学校図書館司書が配置されているという熊取町の良さがある。
- ・小学校の教科書の内容が大きく変わったことで、子どもたちが自分の考えを深めたり広めたりするという方向へと変わってきているので、図書館の利用の方法も今までとは変わってくる。
- ・先生方が本を好きになってもらうことからスタート。先生が本を読むことが好きでなければ、子どもたちに本を読む楽しさなどを伝えられない。リーディングワークショップのような本の紹介など、主体的で対話的で深い学びに繋げていける取組を行う。
- ・子ども会でも、タブレットなどに触っている子どもをよく見るが、本を読む機会は大切だと思う。しかし、町内で本を買えるお店もなくなってきているので、子どもたちに本と出合える場としての図書館が重要になってくるのでは。

8	審議会の情報名称	名称	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
		根拠法令等	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会設置要綱
		設置期間	平成21年4月13日～
		所掌事項	子ども読書活動推進計画に関すること
		委員数	13人
9	担当課	図書館	